



統合型DXプラットフォーム「Hirameki 7」



企業スローガンや行動指針などをまとめた「ブランドブック」

「誰がどれくらいホームページを閲覧しているかは分かっていても、それによりどれだけ価値が生まれているかは判別できません。企業のコミュニケーション活動の見える化に取り組んだのがブランド戦略研究所のプログラムです。企業においてデジタルの価値がどれほどあり、デジタル化への投資が今後どのような価値を生むのかを試算できます」（後藤氏）

モノやサービスの売場で生まれる価値は量的に可視化できるが、企業が展開するコミュニケーション活動に対して、どれほどの人が感謝しているかは計り知れない。

「今回は購入に結びつかなかったとしても、よい情報をもたらえたという消費者の気持ちを価値基準として採用すべきだと思います。企業には、持続可能な形で情報発信を続けていくことが求められます」（後藤氏）

単に成果を追求するだけではなく、顧客企業とともに進むパートナーとして、中長期の視点に立った企業戦略を提案している。

同社は今後もあらゆる面から中小企業のデジタル化を力強く支援していく方針だ。デジタルの力で日本経済にもう一度活気を与えることを使命に、同社の躍進は続いていく。

**BS12 トゥエルビ**  
BS12 TwelIV [全国放送]  
7月17日(日)  
13:00~放送

**サンテレビ**  
サンテレビ [兵庫県・大阪府全域]  
7月18日(月)  
22:00~放送

一人の思いが世界を変える。  
<https://kenja.jp/>

賢者の選択

Webサイトでも視聴できます

企画/矢動丸プロジェクト

**中小企業のデジタル化をサポート 統合型DXプラットフォームを開設**

同社はこれまで、大企業を中心にデジタル化を支援してきた。その実績やノウハウは、デジタル化への対応を先送りしてきた中小企業などに対しても、第一歩を踏み出すための大きな力添えとなるだろう。

「大切なのはデジタルを導入することではなく、プラットフォーム、つまりどう変革するか、企業がどう変わりたいのかを理解して推し進めることです。また、部分最適にとどまらず、全体最適でできるライナップをご用意しています。メディア・広告代理事業、デジタルマーケティング支援事業、ブランドデザインなどを可視化するエクスペリエンスマネジメント事業、さらにこれらを支えるDXプラットフォーム事業を展開しています」（後藤氏）

デジタル化によって企業と顧客をつなぎ、よりよい関係を構築するため、全方向からサポートする。

「全国の中小企業を対象に調査したところ、DX化を進めていると回答した企業はわずか6.3%でした。その背景には、デジタルによる新規顧客の開拓ができていない、デジタル人材が採用できない、デジタルによるコスト削減のやり方が分からないといった課題が見られます」（後藤氏）

同社は2022年7月に中小企業のデジタル化を支援するプラットフォームの提供をスタートした。

「何から始めたらよいか、誰に相談したらよいか分からないという方もすぐにデジタル化に着手できるプラットフォームが必要です。そこで、当社は株式会社ミロク情報サービスと資本業務提携して『統合型DXプラットフォーム』を作りました。知識がなくとも、スマホ対応の美しいホームページの作成ができたり、クラウドのコミュニティで自社製品のPR発信も可能です」（後藤氏）

デジタルスキルの差による分断を解消し、多くの中小企業が障壁を感じることなくデジ

「誰がどれくらいホームページを閲覧しているかは分かっていても、それによりどれだけ価値が生まれているかは判別できません。企業のコミュニケーション活動の見える化に取り組んだのがブランド戦略研究所のプログラムです。企業においてデジタルの価値がどれほどあり、デジタル化への投資が今後どのような価値を生むのかを試算できます」（後藤氏）

モノやサービスの売場で生まれる価値は量的に可視化できるが、企業が展開するコミュニケーション活動に対して、どれほどの人が感謝しているかは計り知れない。

「今回は購入に結びつかなかったとしても、よい情報をもたらえたという消費者の気持ちを価値基準として採用すべきだと思います。企業には、持続可能な形で情報発信を続けていくことが求められます」（後藤氏）

単に成果を追求するだけではなく、顧客企業とともに進むパートナーとして、中長期の視点に立った企業戦略を提案している。

同社は今後もあらゆる面から中小企業のデジタル化を力強く支援していく方針だ。デジタルの力で日本経済にもう一度活気を与えることを使命に、同社の躍進は続いていく。



Hiroshi Goto

トライベック株式会社  
代表取締役社長 後藤 洋

## 「ひとにやさしく、つなぐデジタルを」 中小企業のデジタル化を力強くサポート

大企業のデジタル化を支援してきた実績を生かし、中小企業のサポートに注力するトライベック株式会社。  
日本経済の発展に大きく寄与しながら発展を続ける同社の事業について、  
代表取締役社長の後藤 洋氏が語った。

**企業におけるネット活用を積極化し 重要なコミュニケーションツールに**

インターネット黎明期の2001年、まだネット社会の未来が見通せない時代から企業のインターネットやデジタル化を支えてきたのがトライベック株式会社だ。

「世の中がインターネットで劇的に変化する兆しを感じていたものの、まだ企業のデジタル化は遅れていました。そこで、インターネットの普及と企業の経営活動、マーケティングを組み合わせた会社の必要性を感じて設立しました」（後藤氏）

インターネット社会の醸成とともに、同社も大きく発展を遂げてきた。

「インターネットは、消費者が自らの意思で能動的に情報を探しに行けるよう社会を変えました。しかし、当時の企業にとってホームページは重要なコミュニケーションツールではなく、カタログやパンフレットなど同様の位置づけでした」（後藤氏）

なかでも中小企業は日々の業務に追われることが多く、デジタル化への対応が遅れてきた。

「当社は『ひとにやさしく、つなぐデジタル』を企業スローガンに掲げています。この言葉には、デジタルは便利な道具に過ぎません。中心にいるのは人です。人に利益をもたらすためには、人のことを考え、人にやさしい形で提供することが必要です。デジタル化は魔法の杖のように何でもできるわけではありません。消費者や生活者が心から便利だと思えるものを届けることが大切です。当社はそのためのお手伝いを続けています」（後藤氏）

同社では企業スローガンなどを盛り込んだブランドブックを制作。全社員への浸透と価値観の共有に生かしている。

### トライベック株式会社

[本社] 〒107-0052 東京都港区赤坂7丁目1-1 青山安田ビル3階  
[電話] 03-5414-2020  
[HP] <https://www.tribeck.jp>  
●設立:2001年 ●代表者:代表取締役社長 後藤 洋  
●事業内容:デジタルマーケティング支援事業、DXプラットフォーム事業、エクスペリエンスマネジメント事業、メディア/広告代理事業